

	氏名	職名	所属	係・講座	研究分野
1	シメズ センジウ 清水 扇丈	教授	理学研究科	共生人間学専攻 数理学講座	解析学、特に偏微分方程式論
2	クゲ ケイコ 久家 慶子	教授	理学研究科	地球惑星科学専攻 固体地球物理学講座	地震学 ・地震の物理、地球の内部構造 ・地震波のデータ解析、数値シミュレーション
3	ナリキ メグミ 成木 恵	教授	理学研究科	物理学・宇宙物理学専攻 核物理学講座	ハドロン物理学、原子核物理学に関する実験的研究
4	ミズノ ミサオ 水野 操	准教授	理学研究科	化学専攻 理論化学講座	タンパク質の物理化学 振動分光法を用いて、タンパク質機能発現における構造ダイナミクス 観測の実験研究を行っています。
5	シメズ イチコ 清水 以知子	准教授	理学研究科	地球惑星科学専攻 固体地球物理学講座	固体地球科学(岩石力学、熱力学、高温高圧実験)
6	オオタニ マキコ 大谷 真紀子	准教授	理学研究科	地球惑星科学専攻 固体地球物理学講座	地震学 ・震源の物理 ・地震発生の数値シミュレーション ・データ同化
7	アキヤマ チュウメイ 秋山 秋梅	准教授	理学研究科	生物科学専攻 動物科学講座	分子生物学、分子遺伝学、生化学、放射線生物学 放射線や活性酸素によるDNAの損傷とその修復、突然変異の生成と抑制、および酸化ストレス防御機構について研究しています。大腸菌、線虫、ヒト培養細胞を用いて分子生物学、生化学、遺伝学、細胞生物学の側面から研究を行っています。 日本語、中国語でのご相談をお受けできます
8	アサイ アユミ 浅井 歩	准教授	理学研究科	附属天文台	太陽物理学。太陽表面で発生するさまざまな磁気プラズマ活動現象とそれらの地球への影響(宇宙天気)について、観測的な研究を行っています。
9	カツラガワ ミホ 桂川 美穂	助教	理学研究科	物理学・宇宙物理学専攻 物理学第二教室	実験物理学、放射線測定。 宇宙X線観測用検出器の開発とともに、検出器や解析技術を地上実験(加速器実験、医学)に応用する異分野融合研究にも従事している。
10	ウダカ ヒロコ 宇高 寛子	助教	理学研究科	生物科学専攻 動物科学講座	動物生理学・生理生態学・分子生物学 主に昆虫やナメクジを対象として、無脊椎動物がどのように季節変化を生き延びているのかそのしくみについて研究しています。
11	ムコヨシ メグミ 向吉 恵	助教	理学研究科	化学専攻 相関化学講座	無機化学 金属ナノ粒子や多孔性の金属錯体の合成や、その物性について研究しています。
12	トミタ ナツキ 富田 夏希	助教	理学研究科	物理学・宇宙物理学専攻 核物理学講座	原子核・ハドロン実験 学外の大規模施設で加速器を使った実験を行っています。
13	イシイ キョウカ 石井 杏佳	助教	理学研究科	附属地球熱学研究施設 火山研究センター	火山物理学 火口近傍での多項目観測(地震・空振・地盤変動)によって、噴火ダイナミクス・噴火活動の推移過程について研究しています。
14	ニン カズコ 任 和子	教授	医学研究科	人間健康科学系専攻 先端中核看護科学講座	看護学 ・人と対象とした臨床看護研究 ・糖尿病、心不全、リウマチなど慢性疾患をもつ人の看護 ・チーム医療 ・看護管理学
15	ミヤシタ ミカ 宮下 美香	教授	医学研究科	人間健康科学系専攻 先端中核看護科学講座	がん看護学 ・がんサバイバーシップ支援 ・がんサバイバーの全人的苦痛に対する看護 がんとがん治療に関連した認知機能障害をテーマとした研究に取り組んでいます。
16	タケノウチ サヤカ 竹之内 沙弥香	准教授	医学研究科	人間健康科学系専攻 先端基盤看護科学講座	看護倫理、意思決定支援、アドバンス・ケア・プランニング、エンド・オブ・ライフ・ケア/緩和ケアに関する看護倫理及び看護師教育、臨床倫理、研究倫理
17	ニシヤマ チカ 西山 知佳	准教授	医学研究科	人間健康科学系専攻 先端中核看護科学講座	救急蘇生、クリティカルケア看護学、心肺蘇生教育 一人でも多くの心停止患者が救われるように、一般市民に対する心肺蘇生の普及教育に関する研究を行っている。特に、学校での心臓突然死の予防、心肺蘇生を含めたいのちの教育を普及させたいと考えている。 蘇生を含めたいのちの教育を普及させたいと考えている。
18	ナルセ チエ 成瀬 智恵	准教授	医学研究科	医学研究科附属動物実験施設	ヒト疾患モデル動物の作製、病態の解析、特にエピジェネティック因子、糖鎖修飾関連遺伝子の機能解析
19	ミヨシ トモコ 三好 智子	准教授	医学研究科	医学教育・国際化推進センター 学部教育部門	コロナ禍では、感染症パンデミックによる医療関係者の燃え尽き症候群の影響を検討していました。 現在は、医学生のプロフェッショナルアイデンティティの変容と影響因子の研究を半構造化インタビューによる質的研究手法を用いて行なっています。
20	LUO, Yan	助教	医学研究科	医学教育・国際化推進センター 国際化推進部門	臨床研究、エビデンス・ベースド・メディスン:ランダム化比較試験、疫学研究;データサイエンス・予測モデル;各種のメタ解析手法によるエビデンス統合 背景:リウマチ膠原病内科医、中国と日本の医師免許を持っており、日本語・英語・中国語でのご相談が可能です。
21	ナカジマ タカコ 中島 貴子	教授	医学部附属病院	次世代医療・iPS細胞治療研究センター (Ki-CONNECT)	がんや難病の根治を目指した超早期探索的臨床試験、トランスレーショナル・リサーチを立案・実施しています。

22	マツムラ ユミ 松村 由美	教授	医学部附属病院	医療安全管理部	医療安全、ヒューマンエラー、ガバナンス
23	イケダ カオリ 池田 香織	講師	医学部附属病院	先端医療研究開発機構/ 糖尿病・内分泌・栄養内科	糖尿病・内分泌・栄養学 薬剤の効果、食事の吸収・代謝、活動の多寡、行動変容の動機など、多くの側面をもつのが糖尿病の特徴で、それぞれについて、患者さんや病気の無いボランティアの方を対象として研究させていただいています。 また、先端医療研究開発機構の立場から、京大病院の研究者の臨床研究支援も行っています。
24	ヤマモト エリカ 山本 絵里香	助教	医学部附属病院	循環器内科/先端医療研究開発機構(iACT)	循環器内科医師/カテーテルインターベンション医として臨床業務に携わる一方で、研究活動(心血管疾患に関する臨床試験)もっており、多施設共同研究のPIもしています。先端医療研究開発機構では医療機器開発の支援活動も行っています。
25	カノウ カリン 加藤 果林	助教	医学部附属病院	医療安全管理部/麻酔科	麻酔科医として手術麻酔・ペインクリニック診療・漢方診療に従事しながら、医療安全管理学を学んでいます。
26	ヤマモト エツコ 山本 悦子	助教	医学部附属病院	脳神経外科	脳神経外科医として手術を含めた病院診療に従事しています。 研究内容としては、脳腫瘍に対する臨床研究(神経腫腫、胚細胞腫などの治療成績の検討)・基礎研究(膠芽腫に対する悪性度維持機構の解明)を行っています。
27	ヒグチ ユリコ 樋口 ゆり子	教授	薬学研究科	薬学専攻 薬品動態医療薬学講座	・薬学(薬剤学,ドラッグデリバリーシステム開発) ・生体医工学(細胞製剤,再生医療) ・intravital'蛍光イメージング キーワードを並べると上記になります。薬学部と工学部の融合分野の様な位置付けです。
28	シン ヘウオン 申 恵媛	准教授	薬学研究科	薬科学専攻 生体情報薬学講座	分子細胞生物学、生化学 主に動物細胞を用いて細胞機能における様々なタンパク質や脂質の制御機構の研究をしています。
29	タカヤマ アキ 高山 亜紀	助教	薬学研究科	薬科学専攻 薬品創製化学講座	有機化学、創薬化学
30	ソウ カナコ 宗 可奈子	助教	薬学研究科	統合薬学教育開発センター	薬理学、医療薬学 がん化学療法における味覚障害のメカニズム解析 臨床での問題を基礎研究で解決するリバーストランスレショナルリサーチを目指して研究を行っています。
31	ヒラヤマ トモコ 平山 朋子	教授	工学研究科	機械理工学専攻 機械力学講座	機械工学分野において、機械要素の高性能化やその基礎研究である摺動面のトライボロジー性能の向上に関する研究に取り組んでいます。
32	シマダ ヨウコ 島田 洋子	准教授	工学研究科	都市環境工学専攻 環境システム工学講座	環境リスク工学 有害化学物質、有害重金属および放射性物質の環境中挙動の解析
33	ナムラ キョウコ 名村 今日子	准教授	工学研究科	マイクロエンジニアリング専攻 マイクロシステム創成講座	ナノ構造薄膜、マイクロ流体駆動 光を熱に変換できる薄膜を使って、少量の流体をかき混ぜる研究をしています。 目で見えるには少し小さいくらいのもので遊ぶのが好きです。
34	カワグチ リナ 川口 利奈	講師	工学研究科	材料工学専攻 材料設計工学講座	専攻内の教育・研究支援やダイバーシティ推進の活動をしています。 研究バックグラウンドは生物学(行動生態学)です。研究者としての経験のほかに、URA(リサーチ・アドミニストレーター)としての研究支援経験や、女性研究者支援の業務経験があります。
35	ランデンバーガー キラバス	講師	工学研究科	高分子化学専攻 先端機能高分子講座	リビングカチオン重合を利用し、刺激応答性または機能性ポリマー材料の創造および分析
36	カク ヨウテイ 郭 玉婷	助教	工学研究科	機械理工学専攻 流体理工学講座	ナノスケールでおこる熱・物質・電荷輸送を分子動力学、量子力学という観点からスーパーコンピュータを用いて解析し、エネルギーの変換・輸送・貯蔵、特に燃料電池技術の開発を目指して研究を取り込んでいます。
37	ホンダ アキコ 本田 晶子	助教	工学研究科	都市環境工学専攻 環境衛生学講座	環境毒性学 環境汚染物質が人体に及ぼす影響を培養細胞や動物を用いて実験的に評価しています
38	ツルヤマ レイコ 栗山 怜子	助教	工学研究科	機械理工学専攻 機械材料力学講座	主に熱工学・流体工学分野における基礎研究や技術開発を行っています。 特に、マイクロ流路内の流体温度や粘度、応力などの分布を可視化する技術や、光を利用して熱・物質の輸送を制御する技術の開発に取り組んでいます。
39	キタジマ カオル 北島 薫	教授	農学研究科	森林科学専攻 森林環境科学講座	熱帯林環境学、植物生態学、保全生態学、特に熱帯林植物種の生活史戦略、実生更新、機能形質多様性、及び、形質を通しての生態系機能の理解についての研究
40	クロカワ ヒロコ 黒川 紘子	准教授	農学研究科	森林科学専攻 森林環境科学講座	熱帯林環境学、植物生態学。植物の機能形質に基づき、森林生態系の多種共存機構、生物間相互作用、物質循環などのメカニズムを理解する研究を行っています。
41	シモノ シュウ 下野 嘉子	准教授	農学研究科	農学専攻 耕地生態科学講座	雑草学、植物生態学、外来植物の侵入・分布拡大、人為的撓乱地への植物の適応
42	ダンノウラ マサコ 檀浦 正子	准教授	農学研究科	森林科学専攻 森林環境科学講座	・森林生態学 森林生態系の炭素循環、特に樹木根の役割、師部を介した炭素配分などについて研究しています。

43	キトウ 鬼頭 弥生	講師	農学研究科	生物資源経済学専攻 農企業経営情報学講座	フードシステム論、意思決定論、消費者行動論、リスク認知研究。 生産から消費までのフードシステムの各主体の認知や意思決定、行動に焦点を合わせた研究を行っています。とくに消費者の食品選択行動や風評行動の背景にあるリスク認知・態度、リスクコミュニケーションの問題を扱っています。 また、地域に根ざしたフードシステム存続の問題を検討することを目指して、生産・流通段階の意思決定問題も扱っています。
44	コウヅマ 上妻 馨梨	助教	農学研究科	応用生命科学専攻 植物栄養学分野	植物生理学 温度や光強度などの外的環境によって変化する植物の光合成挙動を分光カメラを使って可視化する研究をしています
45	オチアイ 落合 久美子	助教	農学研究科	応用生命科学専攻 分子細胞科学講座	植物栄養学
46	ヨシナガ 吉永 直子	助教	農学研究科	応用生命科学専攻 応用生化学講座	応用生命科学専攻化学生態学分野 有機化学・分析化学 農薬、昆虫-植物間相互作用、昆虫の解毒代謝研究
47	サカベ 坂部 綾香	助教	農学研究科	森林科学専攻 森林保全管理学講座	生物環境物理学、森林水文学 森林生態系における炭素・水・エネルギーの循環と環境の相互作用を理解するための研究をしています
48	アサイ 浅井 智子	助教	農学研究科	応用生物学専攻 海洋機能学分野	食品科学・食品分析学・調理科学・食品機能学・細胞生物学 研究キーワード:コラーゲン、細胞、おいしさ、テクスチャー ヒトとたべもの(特に魚類)の関わりに興味があります。 食べ物の状態や食べ物を摂取した後の生体内代謝など。
49	フナビキ 船曳 康子	教授	人間・環境学研究科	共生人間学専攻 認知・行動・健康科学講座	精神医学、発達障害、児童精神、メンタルヘルス
50	ハタノ 幡野 恭子	助教	人間・環境学研究科	人間・環境学専攻 地球・生命環境講座	研究分野:植物細胞生物学 内容等:緑藻や植物の形態形成機構に関する研究、教養教育のための教材開発
51	フジイ 藤井 悠里	助教	人間・環境学研究科	人間・環境学専攻 地球・生命環境講座	惑星科学・宇宙物理学・天文学 惑星や衛星が生まれる環境や形成過程について理論的に研究しています。海外でのポスドクの経験があります。
52	カワニシ 川西 咲子	准教授	エネルギー科学研究科	エネルギー応用化学専攻 エネルギー材料学講座	結晶成長、凝固、熱力学、高温物理化学
53	AU Ka Man	准教授	エネルギー科学研究科	エネルギー社会・環境科学専攻 エネルギー環境学分野	無機化学・材料化学・超分子化学・環境科学 金属-有機構造体、多孔性分子結晶、および金属錯体分子集合体に基づく機能性材料の開発を目指しています。また、種々のセンサー、フオトスイッチやデバイスとして応用することのできる、エネルギー効率の高い発光材料の設計ならびに合成を行っています。
54	ウエダ 上田 樹美	助教	エネルギー科学研究科	国際先端エネルギー科学研究教育センター	・環境配慮行動の促進 ・異文化コミュニケーションの誘発 等
55	サイトウ 齋藤 美保	助教	アジア・アフリカ地域研究研究科	アフリカ地域研究専攻 生業生態論講座	アフリカに生息する野生動物の行動生態学的調査を行ってきました。修士を終えた後、外資系IT企業でエンジニアとして働き、博士後期課程に戻ってきました。博士号取得後、本学に着任する前は公務員もしておりました。就職に関する悩みなどについても、ご相談を伺えるかと思えます。
56	エグチ 江口 佳那	講師	情報学研究科	システム科学コース 人間機械強制系講座 ヒューマンシステム論分野	研究分野:生体医工学、医療情報学、ヒューマンコンピュータインタラクション ・医療・ヘルスケア分野を中心に、ウェアラブルセンシングシステム、生体信号・データ解析に関する研究に取り組んでいます。 ・大学入職前に、約10年間の企業勤務経験(研究開発職)があります
57	NAM, Jin Min	准教授	生命科学研究科	高次生命科学専攻 ゲノム生物学講座	分子生物学、細胞生物学 がん微小環境のリモデリングとがん悪性化に関わる分子メカニズムの研究
58	ヤマシロ 山城 佐和子	准教授	生命科学研究科	高次生命科学専攻 認知情報学講座	細胞生物学、細胞内蛍光1分子イメージング。 博士号取得後、アメリカでポスドク経験があります。留学や、海外・異文化での生活について、ご相談を伺えるかと思えます。
59	イケダ 池田 貴子	助教	生命科学研究科	高次生命科学専攻 生体システム学分野	栄養環境の変化を生体がどのように認識するのか、そしてどのように応答することで恒常性が維持されるのか、について研究をしています。 薬剤師としての臨床経験があります。 研究分野:生化学、細胞生物学、分子生物学
60	ヒグチ 樋口 裕美子	准教授	生態学研究センター	生態学研究部門	植物生態学、植物と動物の相互作用、植物の被食防衛。野生植物の示す多様な形態、特に葉の形態が動物との相互作用にどのように影響しているか研究しています。
61	タケウチ 竹内 祐子	助教	地球環境学堂	資源循環学廊	森林に関わる微生物、特に植物寄生線虫による森林流行病の発病メカニズムに関する研究を行っています。
62	ヤマダ 山田 啓子	教授	化学研究所	物質創製化学研究系	有機化学、機能性有機材料化学
63	イマニシ 今西 未来	准教授	化学研究所	生体機能科学研究系	薬学部出身で、研究室は薬学の協力講座です。 生体関連化学 核酸結合タンパク質の機能解析やデザインに関する研究をしています。

64	キムラ カナコ 木村 香菜子	助教	医生物学研究所	ウイルス制御分野	構造生物学 分子生物学 ウイルス学 ウイルス感染メカニズムを解明することを目指して、ウイルスタンパク質および宿主レセプタータンパク質を昆虫細胞やヒト細胞を用いて精製し、機能解析やクライオ電子顕微鏡を用いた単粒子解析を行っています。
65	セキグチ ハルコ 関口 春子	准教授	防災研究所	社会防災研究部門	強震動地震学 大地震の震源過程解析、地震時の地盤応答解析、地下構造モデル化、地震動予測
66	マツダ ヨウコ 松田 曜子	准教授	防災研究所	防災研究所	住民参加型の防災計画、災害リスクコミュニケーションについて研究しています。
67	イトウ エツコ 伊藤 悦子	准教授	基礎物理学研究所	物理学基礎研究部門	素粒子・原子核物理学の理論的研究、数値計算
68	ヒロナカ シオリ 廣中 詩織	助教	学術メディアセンター	社会情報解析基盤研究部門	ソーシャルメディアのデータを使って、ソーシャルメディアや社会ネットワークなどの研究をしています。 計算社会科学、ネットワーク分析、Web工学
69	ミヅニ ヨウコ 三谷 曜子	教授	野生動物研究センター	水圏保全研究部門	海棲哺乳類学、海洋生物環境学。アザラシ、オットセイ、シャチ、ラッコなど、海棲哺乳類の行動と生態、および環境との相互作用についての研究をしています。
70	ムラヤマ ミホ 村山 美穂	教授	野生動物研究センター	分子保全研究部門	野生動物の保全遺伝学、動物行動の遺伝的背景の解明
71	カヅラ ユカヨ 桂 有加子	助教	ヒト行動進化研究センター	ゲノム進化分野	進化遺伝学 性染色体の分子進化、霊長類の精巣発現遺伝子の解析
72	イシハラ マサエ 石原 正恵	准教授	フィールド科学教育研究センター	森林生態系部門	研究分野：森林生態学 樹木の繁殖や成長に関する研究。野外の多地点長期データを用いた多様性や森林の物質生産の変動に関する研究。生態系サービス評価。気候変動や分断化に対するブナ林の脆弱性評価。
73	ヘニミ ユミ 邊見 由美	助教	フィールド科学教育研究センター	里域生態系部門	共生生態学 特に無脊椎動物の巣穴を介した住み込み共生に着目し、宿主甲殻類の生態や共生者の進化と適応について研究しています。
74	スギヤマ ヨリコ 杉山 賢子	助教	フィールド科学教育研究センター	森林生態系部門	菌類生態学 特に、植物共生菌である外生菌根菌を対象に、その分布や群集動態が宿主植物との関連でどのように決まっているのかを研究しています。
75	フカザワ アイコ 深澤 愛子	教授	高等研究院	物質-細胞統合システム拠点 (iCeMS)	構造有機化学・有機合成化学・典型元素化学 有機化合物、特に共役電子系の分子構造が物性をいかに決定づけるかを理解し、独自の分子設計と合成化学をもとに新しい光・電子機能性材料の開発に取り組んでいます。
76	ケンガク ミネコ 見学 美根子	教授	高等研究院	物質-細胞統合システム拠点 (iCeMS)	神経科学、発生生物学、細胞生物学
77	モタニ サユリ 茂谷 小百合	助教	高等研究院	物質-細胞統合システム拠点 (iCeMS)	分子生物学、細胞生物学、細胞分化
78	カタオカ ヒトミ 片岡 仁美	教授	国際高等教育院	医学教育国際化推進センター	・医学教育研究を行っており、特に医師・医学生の患者さんへの共感性(empathy)の評価、どのような介入によってempathyが向上するか、といった教育実践研究も行っています。 ・女性医師のキャリアについての研究、男女共同参画やワークエンゲージメントについての研究も開始しています。
79	オカバヤシ サトエ 岡林 里枝	助教	環境安全保健機構	産業厚生部門	人間集団を対象とする疫学研究、臨床研究 ・プライマリヘルスケア、予防医療等に関する、ランダム化比較試験 ・高齢者ががんのコホート研究 などを行ってきました。
80	ナカガミ ユカコ 中神 由香子	助教	学生総合支援機構	学生相談部門	精神医学全般 ・身体疾患との関わり 身体疾患と精神症状の関係、器質性精神障害、神経免疫学 ・社会との関わり 精神疾患に対するスティグマ、自殺予防、メンタルヘルスの啓発